

希望

平成23年
9月9日(金)
大船渡市立第一中学校
学校新聞「希望」
第11号
発行責任者 高橋莉子

前文部科学副大臣から☆ 激励メッセージ!



創ろう!! 元気な日本

9月1日前文部科学副大臣の鈴木寛さんより、「大船渡第一中学校「希望」に寄せて」という激励のメッセージをいただきました。そのメッセージの内容を紹介します。

9月1日前文部科学副大臣の鈴木寛さんより、「大船渡第一中学校「希望」に寄せて」という激励のメッセージをいただきました。そのメッセージの内容を紹介します。

今回の震災で、多くの尊い命や、思い出深いふるさとが失われてしまったことに私たちが心を痛め、全力で復興を後押ししたいと日々取り組んでいます。

私たちがこれから復興活動の中心となり、地域の方々、仮設住宅に住む方々に文部科学副大臣からメッセージが届きます。

私達一中は8月31日から9月2日まで3日間、総合の取り組みで体験学習を行いました。1年生は福祉体験、2年生は復興・復旧に力を尽くしている方々に取材しに行きました。

す。しかし、大人や政府だけでは、地域の未来を創り出すことは出来ません。他にならぬ、大船渡に暮らし、未来を担う皆さんが自発し、「共感・共鳴」する人たちが増え、創る、まさに「希望」の取り組みが広がることこそが、あたらしいふるさとを創り出す最大の復興の力となります。

私達一中は8月31日から9月2日まで3日間、総合の取り組みで体験学習を行いました。1年生は福祉体験、2年生は復興・復旧に力を尽くしている方々に取材しに行きました。

また、この体験学習のために協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました。皆さんのおかげで、希望をもつて生きることが出来ます。

前副大臣から...
一緒に頑張りましょう

私達一中は8月31日から9月2日まで3日間、総合の取り組みで体験学習を行いました。1年生は福祉体験、2年生は復興・復旧に力を尽くしている方々に取材しに行きました。

町づくりのために

先日宮田町のちびにせっけんが配られました。このせっけんは夏休みに3年生がボランティアで集まりつくったせっけんです。せっけんは給食室で出た廃油を使ってつくったので、安全です。エコなと思います。せっけんにはひとつにメッセージかはいっています。メッセージだけじゃなく宮田町のちびへの気持ちもこもっています。

今回のは3年生だけでつくったので、これから1年、2年も宮田町のみなさんのためになる物をつくっていきたいと思います。一中生のみなさんもすんでボランティア活動に参加しましょう。そして、ただ活動に参加するのではなく、希望をもつてほしいという気持ちを持ち取り組みましょう。